

国際協力資金 < ODA > と 貧困削減・平和構築

～ イラク復興支援における ODA 拠出に際して～

日時：2004 年 7 月 26 日（月）
18：30～21：00

会場：東京ウィメンズプラザ視聴覚室 AB
（地下鉄表参道駅 B2 出口より徒歩 7 分。オーバルビルと国連大学の間の道を入ったコスモス青山）

参加費：1,000 円

主催：「環境・持続社会」研究センター (JACSES)



2003 年 8 月、日本政府は政府開発援助 (ODA) 大綱を改定し、「平和構築」を重点分野に加えしました。また、2002 年 12 月に発表された『国際平和協力懇談会』報告書では、平和構築に向けた ODA と自衛隊の連携強化が検討されています。こうした中、2003 年 3 月の米英によるイラク攻撃を受けて、日本政府はイラクへの復興支援を表明し、実際に 15 億ドルの資金協力が開始されています。これに対し、2003 年より開始された NGO 外務省定期協議政策協議会（年 3 回）などでは、ODA を通じて

どのような国際平和を築こうとしているのか

ODA が紛争を助長しないよう必要な措置は何か

復興支援に際する援助実施側の中立性をどのように確保するのか

復興支援のニーズをどのように捉えるのか

援助プロセスの透明性・アカウンタビリティや開発効果に対するモニタリングをいかに確保するのか

世界全体の中で援助資金が一地域に偏ることによる他地域への影響など

様々な懸念も指摘されています。本セミナーでは、日本の公的な国際協力資金を通じた平和構築および貧困問題解決に向けたあるべき姿、およびこれに向けて求められる多国間および日本政府の制度について検討を深めます。

講演内容

「はじめに：NGO 外務省政策協議会での国際平和協力に関する議論」

石田恭子（「環境・持続社会」研究センター<JACSES>）

著書に『日本の ODA 「環境・人権・平和」』（JACSES）等。

「ODA 政策における平和構築支援をどう読むか」

高橋清貴氏（日本国際ボランティアセンター<JVC>）

開発コンサルタント等を経て現職。著書に『平和・人権・NGO』（新評論）共著等。

「平和構築に求められる原則とその限界」

篠田英明氏（広島大学平和科学研究センター）

著書に第 3 回大渕次郎賞（朝日新聞）『平和構築と法の支配』等。

他 + 質疑応答・議論

お申し込み先<下記あてにファックスもしくはEメールでお申込ください>

特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター (JACSES) 担当：石田

東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル 2 階

電話：03-3447-9585 FAX：03-3447-9383 E-mail: jacses@jacses.org

本ワークショップは、環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて行われます。

